

令和5年度 横浜市精神保健福祉審議会 第1回 依存症対策検討部会

日 時 : 令和5年7月11日(火)
午後5時00分～午後7時00分(予定)
会 場 : 横浜市こころの健康相談センター 会議室
We b会議形式も併用した開催

《次 第》

1 開会

2 報告

- (1) 令和4年度の依存症対策事業の事業実績について
- (2) 令和5年度の依存症対策事業の事業内容について

3 議題

- (1) 令和6年度の依存症対策事業の取組案について

【配付資料】

- 資料1 令和4年度 依存症対策事業の事業実績について
資料2 こころの健康相談センター等における令和5年度の依存症対策事業
について

資料1

令和4年度の依存症対策事業の事業実績について

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を 分けて記載しています。	実施状況	事業・取組名・取組内容など	対象とする依存症の分野					実績（または見込）
					アルコ ール	薬物	ギャンブ ル	ネット・ ゲーム	その他	
ア 若年層への啓発・依存症予防の知識の提供	依存症の正しい理解を促進する広報物の作成	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	①依存症啓発リーフレット等の作成・配布 ②若年層向け啓発動画制作	○	○	○	○	すべて	①依存症啓発リーフレット等の作成・配布 ・「依存症ってしていますか？」 ・「依存症のお悩みを抱えるあなたへ」 ・「横浜市でギャンブルなどのお悩みを抱えるあなたへ」ほか 庁内機関120カ所、外部機関828カ所に配布 ②若年層向け啓発動画制作 ・予防を目的とした約1分45秒のアニメーション動画制作
	ゲーム障害の正しい理解を促進する、啓発資料の作成	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	①市内小中学校に通う小学4年生から中学3年生の保護者に家庭でのゲームとの付き合い方やルール作りを促すちらしを学校を通じて配布。 ②ゲーム障害・ネット依存に関するプロジェクトチームにて、小学校3年生向けの教材リーフレットの内容を検討。				○		①「家族で考えよう！ゲームとのつきあい方」の配布 配布数：約177,000部
	ホームページ等を活用し、依存症を含む、青少年向けの広報・啓発の実施	こども青少年局青少年育成課	実施	【取組名】 高校生世代の居場所や相談先をみつける横浜市情報サイト「ふあんみつけ」 【内容】 青少年と青少年に身近な大人に対して、青少年の課題や相談機関・専門機関について啓発することで、青少年の課題が深刻化する前に相談などの適切な対処方法を伝えることを目的として運営。		○	○	○		・サイトの運営（通年） ユニークユーザー数（～2月）：2,988 ・Twitter広告（12/28（水）～1/24（火）） インプレッション数：695,028件 ・カード型チラシ等の配布（市立中学校3年生、各区こども家庭支援課、その他関係機関） ※ふあんみつけ以外の情報も含む
	教員や保護者、地域の大人や団体、区役所などの支援者が支援や指導に活用できる依存症に関する「子ども・若者どこでも講座」の実施	こども青少年局青少年育成課	実施	【取組名】 知っておきたい！子ども・若者どこでも講座 【内容】 全ての青少年が様々なリスクにさらされているという認識のもと、抱える課題の理解を促進するとともに、青少年の育ちを地域全体で見守ることができる環境づくりを目的とし、主に地域・学校で行われる「子ども・若者」をテーマとした講演会・研修会等に講師を派遣する「知っておきたい！子ども・若者どこでも講座」を実施。		○		○		知っておきたい！子ども・若者どこでも講座 実施回数：14回（主に小・中・高の学校で開催） 参加者：延べ2,177名

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を 分けて記載しています。	実施状況	事業・取組名・取組内容など	対象とする依存症の分野					実績（または見込）	
					アルコー ル	薬物	ギャンブ ル	ネット・ ゲーム	その他		
(1) 総合的な 依存症対策の 取組	子ども・若者支援に携わる支援者のスキル アップを図ることを目的とした研修の実施	こども青少年局青少年相談センター	実施	厚生労働省の地域自殺対策緊急強化事業の一つとしても取り 組み、若者や支援者のメンタルヘルスを理解し、よりよい支 援へとつなげていくことを目的とした「若者相談支援スキル アップ研修 メンタルヘルスコース」の一つのテーマとし て、「ネットゲームにまつわる問題の理解と支援～健康的な 付き合い方からネット・ゲーム行動症まで～」を動画配信に よる研修にて実施。				○		講師：青山 久美 氏（神奈川県立精神医療センター 依存 症診療科） 研修方法：YouTubeによる動画配信 研修配信時期：令和5年3月17日（金）9時～3月30日 （木）17時 研修再生時間：約75分（1コマ約25分×3コマ） 参加対象者：横浜市内の公的機関及び地域で子ども・若者の 相談・支援に取り組んでいるNPO法人等の民間機関の相談員 並びに横浜市内の高等学校・大学の教職員及び相談員 研修申込者数：139名（93機関）	
	ゲーム障害も含めた依存症の正しい理解を 促進する、小中学校での啓発資料の配布や 理解に向けた授業等の実施	教育委員会事務局健康教育・食育課	実施	【再掲】市立小中学校に通う小学4年生から中学3年生の保 護者に家庭でのゲームの付き合い方やルール作りを促すチラ シを学校を通じて配布。					○	【再掲】「家族で考えよう！ゲームとのつきあい方」の配布 配布数：約170,000部	
	子どもが豊かに成長するために、家庭での 保護者等の関わり等について、ホームペ ージ等で普及啓発を実施	教育委員会事務局学校支援・地域連携課	実施	本市ホームページ「よこはま家庭教育支援『はまっこ子育 て』」のQA及び相談先紹介の中で、ゲーム依存等について 掲載。また、ホームページの案内チラシを、新1年生になる 児童・生徒の保護者に配布して周知する。					○	ホームページ案内チラシを、新1年生になる児童・生徒の保 護者に学校を通じて配布（約61,000部）	
	依存症に関する予防教育・普及啓発に向け て、様々な年齢の人を対象とする内容の啓 発資料の作成・配布	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	①【再掲】依存症啓発リーフレット等の作成・配布 ②【再掲】若年層向け啓発動画制作 ③【再掲】小中学校向けゲーム啓発ちらし配布	○	○	○	○	すべて	①【再掲】市内120カ所、外部機関828カ所へ配布 ②【再掲】予防を目的とした約1分45秒のアニメーション動 画 ③【再掲】配布数：177,000部	
	それぞれの 年齢等に適 した普及啓 発・予防教育 の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	①本市ホームページへの情報掲載 ②横浜市公式YouTubeへ動画の掲載	○	○	○	○	すべて	①本市ホームページの構成・内容を更新し、新たに「若年層 に関する依存症の知識と予防」のページも作成 アクセス数：（基礎知識）2,705件 （若年層向け）490件 （家族向け）6,560件 ②横浜市公式YouTube及び本市ホームページに若年層向け啓 発動画・家族向け支援紹介動画を掲載	
	ウ 大学生へ の啓発	依存症の予防教育・普及啓発に関する広報 物の作成	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	大学・都市パートナーシップ協議会参加大学等へリーフレ ットを送付	○	○	○	○	すべて	「依存症って知っていますか？」リーフレットを29校に10部 ずつ送付
	横浜市立大学で、大学生の健康診断に合わ せて、啓発資料の配布・掲示、保健指導の	政策局大学調整課	実施	啓発資料の配布・掲示	○	○			○ （たばこ）	啓発資料の配布・掲示、配架の実施	
	市内にキャンパスを置く国公立大学に対 し、若年層向けの啓発資料の提供	政策局大学調整課	実施	【再掲】大学・都市パートナーシップ協議会参加大学へリー フレットの配架に関する協力依頼	○	○	○	○		【再掲】「依存症って知っていますか？」リーフレットを29 校に10部ずつ送付	

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を 分けて記載しています。	実施状況	事業・取組名・取組内容など	対象とする依存症の分野					実績（または見込）	
					アルコー ル	薬物	ギャンブル	ネット・ ゲーム	その他		
案1 予防 のため の取組	エ 身近な支 援者等による 啓発	依存症の予防教育・普及啓発に関する広報物の作成	健康福祉局 ころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	①【再掲】 依存症啓発リーフレット等の作成・配布 ②【再掲】 小中学校向けゲーム啓発ちらし配布	○	○	○		すべて	①【再掲】 庁内120カ所、外部機関828カ所へ配布 ②【再掲】 配布数：177,000部
		幅広い市民が訪れる身近な支援機関の窓口等での依存症に関する広報物の配架・配布	区高齢・障害支援課 区生活支援課 区こども家庭支援課 区福祉保健課 区政推進課 基幹相談支援センター 発達障害者支援センター 精神障害者生活支援センター 地域ケアプラザ	実施	・依存症って知っていますか？ ・依存症のお悩みを抱えるあなたへ ・依存症のお悩みを抱えるご家族の皆様へ ・依存症家族教室のご案内 ・横浜版依存症回復プログラムWAI-Yのご案内 ほか広報物の配架・配布	○	○	○	○	すべて	窓口への配架等
	オ 心身の健 康を保つ取組	区役所の精神保健福祉相談等でのこの健康に関する相談を実施	区高齢・障害支援課	実施	精神保健福祉相談を実施	○	○	○	○	すべて	相談延件数20,944件（心の健康づくり）
		ストレスチェックや対処法、こころの病気に関する基本的知識等についてホームページやリーフレット等により啓発を実施	健康福祉局 ころの健康相談センター	実施	①本市ホームページにて記事や情報を掲載 ②こころの健康に関する動画を配信 ③市民向けに啓発イベントの開催（「五感で楽しむセルフケア&文字あつめラリー」の開催）	○	○	○	○		①本市ホームページにてこころの健康に関する記事や情報を掲載 ②R4.10及びR5.2にYoutube、馬車道駅、R4.10市庁舎デジタルサイネージ、R5.1相鉄トレインビジョンでの動画掲載 ③R4.11.26実施、52名参加
		こころの電話相談で、区役所の閉庁時間である平日夜間帯の一部及び休日こころの健康に関する相談を実施	健康福祉局 ころの健康相談センター	実施	こころの電話相談は、365日こころの健康に関する相談に対応し、必要に応じて、専門相談窓口を案内している。	○	○	○	○	性・窃盗等	相談件数（依存症以外の相談も含む） 7,368件
		生活習慣改善相談として、健康診断の数値・結果データの見方や、生活習慣病・禁煙に関する相談を実施	健康福祉局健康推進課	実施	生活習慣改善相談における禁煙相談の実施		○				延べ66人実施
		「よこはまグッドバランス賞」の認定などを通じ、市全体のワーク・ライフ・バランス推進を目指した取組を実施	政策局男女共同参画推進課	実施	「よこはまグッドバランス賞」認定事業						・令和4年度認定企業数：231社 ・認定企業の経営者に対し「男性も子育てしやすい職場と、その経営者や上司イクボスで成果と笑顔が共にアップ」を実施 ・認定企業の経営者、人事・労務担当者向けに「仕事と子育て・介護等の両立に必要なこと」をオンラインで実施
	カ 様々な課 題への支援	「よこはまグッドバランス賞」の認定などを通じ、市全体のワーク・ライフ・バランス推進を目指した取組を実施	こども青少年局企画調整課 こども青少年局地域子育て支援課	実施	啓発冊子（あなたとわたしのワーク・ライフ・バランスハンドブック）の配布						配布部数：約300冊
		区役所の関係各課において、依存症の本人が直面する様々な課題に対する相談対応が必要な支援を実施 ・担当課だけで対応が難しい場合、関係機関等との横断的な情報共有や連携した対応を実施	区高齢・障害支援課 区生活支援課 区こども家庭支援課 区福祉保健課	実施	各区窓口で関係機関等と連携して相談対応や必要な支援を実施	○	○	○	○	すべて	随時実施

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を 分けて記載しています。	実施状況	事業・取組名・取組内容など	対象とする依存症の分野					実績（または見込）
					アルコー ル	薬物	キャンパ ル	ネット・ ゲーム	その他	
(2) アルコー ル 依 存 症 に 特 化 し た 取 組	・教育相談の中で学校生活上の困りごと について相談対応を実施 ・スクールカウンセラー等が教職員と連 携し、児童・生徒や保護者の相談に対応	教育委員会事務局人権教育・児童生徒課	実施	スクールカウンセラー活用事業					○	各学校、週1回の区役所相談で教育相談実施
	生活習慣改善相談や健康づくり関連イベ ントにおいて、健康問題とともに適量な飲 酒に関する知識を高める啓発の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	家族教室の11月分として、アルコール依存症についての啓発 セミナーを実施	○					日時：11月25日 テーマ：アルコール依存症の治療と回復～家族が楽になるた めに～ 講師：早間 文徳 氏（医療法人誠心会 神奈川病院 精神 保健福祉士） 参加者数：37名
	市内で働く人たちの多量飲酒防止に向け て、「よこはま企業健康マガジン」（メー ル配信）においてアルコール問題に関する 記事の配信	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	よこはま企業健康マガジンにおいて適正飲酒の記事を配信	○					配信日：令和4年11月2日
	生活習慣改善相談や健康づくり関連イベ ントにおいて、健康問題とともに適量な飲 酒に関する知識を高める啓発の実施	健康福祉局健康推進課	実施	啓発リーフレット 「それって、ストレスのせいじゃないの？」の配布	○					区福祉保健課に合計2,930部を送付
	市内で働く人たちの多量飲酒防止に向け て、「よこはま企業健康マガジン」（メー ル配信）においてアルコール問題に関する 記事の配信	健康福祉局健康推進課	実施	よこはま企業健康マガジンに記事掲載	○					11月号で配信 約1,112人（登録者対象）
	小・中・高等学校の保健教育において飲 酒の問題に関する授業の実施	教育委員会事務局健康教育・食育課	実施	①小学校「病気の予防」 ②中学校「健康な生活と疾病の予防」 ③高等学校「現代社会と健康」	○	○				学習指導要領に基づき該当学年の児童生徒を対象に実施
	依存症の予防教育・普及啓発に関する広報 物の作成・配布	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	①支援者向けガイドラインへの掲載 ②男女共同参画推進センターへのリーフレットを送付	○	○	○	○	すべて	①「依存症って知っていますか？」 ② 10部送付
	女性の生活習慣病や依存症の予防に向 けて情報提供の実施	政策局男女共同参画推進課	実施	①心とからだで生き方の総合相談 ②広報物の配布	○	○	○	○	摂食障害	①2,500件 ※依存症以外を含む ②広報物「フォーラムの相談室です」3,000部配布
	・青少年の薬物乱用防止や薬物依存症の 予防に向けて、市内小・中・高等学校の教 職員等を対象とした薬物乱用による心身へ の影響や依存症に関する研修会の実施	健康福祉局医療安全課	実施	薬物乱用防止啓発指導者研修会の実施					○	「薬物依存に関する最近の話題（OTC医薬品の乱用等）」 講師：湘南医療大学 薬学部長 鈴木勉氏 開催回数：1回（令和4年10月11日から令和4年12月23日ま でeラーニングにて実施） 参加者数：217人
	・青少年の薬物乱用防止や薬物依存症の 予防に向けて、市内小・中・高等学校の教 職員等を対象とした薬物乱用による心身へ の影響や依存症に関する研修会の実施	教育委員会事務局健康教育・食育課	実施	【再掲】薬物乱用防止啓発指導者研修会「薬物依存に関する 最近の話題」					○	【再掲】健康福祉局医療安全課と共催で薬物乱用防止啓発指 導者研修会実施
イ 薬物乱用防 止への取組	・市民に対する薬物乱用防止を目的とし た、薬物に関する正しい知識や危険性の普 及啓発の実施	健康福祉局医療安全課	実施	第11回薬物乱用防止キャンペーンin横浜					○	啓発物配布@桜木町駅前ES：令和4年7月16日 Web開催：令和4年11月10日～令和5年1月10日、キャン ペーン期間サイト閲覧数：10,376件及び中学生及び小学校高 学年を対象にクリアファイルの配布。
	・薬物乱用防止庁内連絡会を通じた関係 機関との連携や情報共有の実施	健康福祉局医療安全課	実施	令和4年度薬物乱用防止対策庁内連絡会					○	書面開催

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を 分けて記載しています。	実施状況	事業・取組名・取組内容など	対象とする依存症の分野					実績（または見込）	
					アルコ ール	薬物	ギャン ブル	ネット・ ゲーム	その他		
に ン プ ル ） 等 た 依 存 ギ ム ヤ	ア 高等学校の保健体育におけるギャンブル等依存症の教育	・ 高等学校で行われる保健体育の授業において、ギャンブル等依存症の予防や正しい付き合い方に関する授業の実施	教育委員会事務局高校教育課	実施	保健の授業において「現代社会と健康」の単元等で扱う	○	○	○	○		学習指導要領に基づき該当学年の生徒を対象に実施
	イ 場外券売り場などでの普及啓発	・ 公営競技の場外券売り場等において、依存症の予防教育・普及啓発に関する広報物の配架・配布	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	公営競技の場外券売り場等での啓発カードの配架依頼	○	○	○	○	すべて	30部ずつ5カ所（ウインズ横浜、エクセル伊勢佐木、ジョイホース横浜、ポートピア横浜、サテライト横浜）に送付
重点 施策 2 依 存 症 に 関 す る 正 し い 理 解 、 知 識 を 広 め る た め の 普 及 啓 発	ア 依存症について関心をもち正しい理解を促進する普及啓発	・ 電車の交通広告やインターネット・SNSなどを活用した、依存症の正しい理解を促進する普及啓発の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	公共交通広告等での動画広告掲載	○	○	○	○	すべて	・ 放映場所：市営地下鉄、JR横浜線、相鉄線、市営バス、神奈中バスの車内広告、みなとみらい線（馬車道駅、元町・中華街駅）のホームドアビジョン 放映期間：28日間以上（5月、9～10月、11～12月） ・ 放映場所：ワクチン接種会場（横浜駅西口会場ほか2会場）の経過観察ブース 放映期間：11月9日～2月28日 ・ 放映場所：新横浜駅のプロジェクトサイネージ 放映期間：12月1日～1月15日
		市民向け講座の開催	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	横浜市立大学への委託事業「減酒外来におけるアルコール依存症の早期発見・早期継続支援及び普及啓発事業」委託内で一般市民及び依存症の家族等向けの依存症の基礎知識の提供や早期の相談につながる市民向け講座を開催	○					
	依存症の正しい理解を促進する広報物の作成・配布、講演会等の開催	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	①【再掲】依存症啓発リーフレット等の作成 ②【再掲】若年層向け啓発動画制作 ③【再掲】横浜市立大学への委託事業「減酒外来におけるアルコール依存症の早期発見・早期継続支援及び普及啓発事業」委託内での市民向け講座の開催	○	○	○	○	すべて	①【再掲】市内機関120カ所、外部機関828カ所に配布 ②【再掲】予防を目的とした約1分45秒のアニメーション動画 ③【再掲】参加者数：37名	
	イ 依存症の正しい知識の普及啓発	依存症の正しい理解を促進する広報物の作成・配布、講演会等の開催	区高齢・障害支援課（精神保健福祉相談）	実施	依存症に関する講演会の開催 ①講演会「ネット依存とゲーム障害」の開催（青葉区） ②食生活等改善推進員セミナー（栄区）	○			○		①日時：12月22日 14時～16時 場所：青葉区役所 参加者：44名 講師：西村 光太郎 氏（久里浜医療センター医師） ②アルコール等について、セミナー内で保健師から講話を実施。参加者9人

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を分けて記載しています。	実施状況	事業・取組名・取組内容など	対象とする依存症の分野					実績（または見込）
					アルコール	薬物	ギャンブル	ネット・ゲーム	その他	
	民間支援団体等による講演会等について、周知協力などの開催支援の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	民間支援団体等による講演会等への周知協力・参加	○	○	○	○	すべて	開催案内の配架等
	民間支援団体等による講演会等について、周知協力などの開催支援の実施	区高齢・障害支援課（精神保健福祉相談）	実施	民間支援団体等による講演会等への周知協力・参加	○	○	○	○	すべて	開催案内の配架等
ア 依存症の本人や家族等が相談につながる普及啓発	電車の交通広告やインターネット・SNSなどを活用した、相談につながる普及啓発の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	①インターネットリスティング広告 ②【再掲】公共交通広告等での動画広告掲載	○	○	○	○	すべて	①Yahoo!及びGoogleの検索エンジンでの依存症に関連する単語で検索された際に、依存症メール相談につなぐ広告を表示する。 相談者総数（継続相談者）：125名 ②【再掲】公共交通機関の車内広告等で放映
	厚生労働省が定める啓発週間に合わせた、相談動員や市民向けセミナーの開催	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	①広報よこはま、Twitter、LINEにおける相談窓口の案内 ②家族向けセミナー（ギャンブル）の開催 ③【再掲】啓発セミナー（アルコール依存症の治療と回復～家族が案になるために～）の開催	○		○			①広報よこはま令和4年度5月号、11月号にそれぞれ記事掲載 ②日時：5月31日（火） テーマ：「ギャンブル等依存症専門医療機関での治療と家族の回復」 講師：松崎 尊信 氏（久里浜医療センター精神科医長） 参加者数：41名 ③【再掲】参加者数：37名
イ 幅広く身近な場所での普及啓発	依存症の本人や依存症が疑われる人及びその家族等が相談につながる広報物の作成・配布	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	【再掲】依存症啓発リーフレット等の作成・配布	○	○	○	○	すべて	【再掲】庁内機関120カ所、外部機関828カ所に配布
	依存症の本人や依存症が疑われる人が訪れる可能性の高い区役所の関係各課の窓口などで、依存症の相談につながる相談支援機関の広報物の配架・配布	区高齢・障害支援課 区生活支援課 区こども家庭支援課 区福祉保健課	実施	【再掲】依存症関係の広報物の配架・配布	○	○	○	○	すべて	【再掲】窓口への配架等
ウ 家族等向けの啓発	精神障害者生活支援センターや基幹相談支援センター、地域ケアプラザ、発達障害者支援センターなど、依存症の本人や依存症が疑われる人が訪れる可能性のある身近な支援者の窓口などで、依存症の相談につながる相談支援機関の広報物の配架・配布	基幹相談支援センター 発達障害者支援センター 精神障害者生活支援センター 地域ケアプラザ	実施	【再掲】依存症関係の広報物の配架・配布	○	○	○	○	すべて	【再掲】窓口への配架等
	依存症の本人や依存症が疑われる人の家族等に対し、相談につながる広報物の作成・配布	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	【再掲】依存症啓発リーフレット等の作成・配布	○	○	○	○	すべて	【再掲】庁内機関120カ所、外部機関828カ所に配布
	家族等からの相談にも対応する専門的な医療機関に関する情報について、家族等や身近な支援者へ周知の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	①依存症個別相談及び依存症家族教室（セミナーを含む）での情報提供 ②依存症家族向け支援紹介動画の制作・公開	○	○	○	○	すべて	②依存症のメカニズムについて紹介する依存症家族向け支援紹介動画（約11分）を制作し、YouTubeで公開

（ 1 ） 総合的な依存症対策の取組

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を 分けて記載しています。	実施状況	事業・取組名・取組内容など	対象とする依存症の分野					実績（または見込）		
					アルコー ル	薬物	ギャンブ ル	ネット・ ゲーム	その他			
重点 施策 3 相談 につ なが るた めの 普及 啓発		・ 依存症の本人や依存症が疑われる人の 家族等が訪れる可能性のある区役所の関係 各課の窓口などで、依存症の相談につな がる相談支援機関の広報物の配架・配布 ・ 家族等からの相談にも対応する専門的 な医療機関に関する情報について、家族等 への周知の実施	区高齢・障害支援課 区生活支援課 区子ども家庭支援課 区福祉保健課	実施	①【再掲】 依存症関係の広報物の配架・配布 ②ホームページでの飲酒ページ作成し、依存症の相談先を掲載。SNSでの啓発を実施（栄区）	○	○	○	○	すべて	①【再掲】 窓口への配架等 ②栄区Twitter閲覧数：836人	
	エ 民間支援 団体等による 講演会等の開 催	民間支援団体等による講演会等の開催	民間支援団体等	実施	民間支援団体等が依存症の本人や家族、支援者等を対象に講演会等を実施	○	○	○			横浜市が交付する民間団体活動支援事業補助金を活用し、民間支援団体等が講演会等を実施（5団体で9回）	
		民間支援団体等が開催する講演会等の周知 支援の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	民間支援団体等主催の講演会等の周知	○	○	○	○	すべて	・ こころの健康相談センターでのちらし配架 ・ 区等への情報提供 ・ 家族教室・セミナー等での周知	
		民間支援団体等が開催する講演会等の周知 支援の実施	区高齢・障害支援課（精神保健福祉相談）	実施	民間支援団体等による講演会等への周知協力	○	○	○	○		窓口等での開催案内の配架等	
	オ インター ネットを 活用 した 情報 提供	こころの健康相談センターのホームページ での依存症に関する情報の拡充	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	本市ホームページへの新たな情報掲載	○	○	○	○	すべて	本市ホームページの構成・内容を更新し、新たに「若年層に 関する依存症の知識と予防」のページも作成	
		依存症のセルフチェックや自身のニーズに 合った相談・支援・医療機関の検索ができる Webサイトの作成	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	セルフチェックウェブページの運用	○	○	○	○		セルフチェック実施件数：10,915件	
た こ 取 り 組 み に 特 化 し た	ア 産業保健 分野における 普及啓発	市内企業等の人事・労務担当者が、従業員 をアルコール依存症の相談につなげるため の情報提供の実施	神奈川産業保健総合支援センター	実施	インターネットによる情報提供	○					ホームページ上でアルコール依存症の相談窓口に関する情報 を提供	
		市内企業等の従業員のアルコール依存症の 相談につながる広報物の作成・配布	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	【再掲】 よこはま企業健康マガジンにおいて適正飲酒の記事 を配信	○						【再掲】 配信日：令和4年11月2日
		市内企業等の従業員のアルコール依存症の 相談につながる広報物の作成・配布	健康福祉局健康推進課	実施	啓発リーフレット 「それって、ストレスのせいじゃないの？」の配布	○						区福祉保健課に合計2,930部を送付
		市職員に向けて、飲酒に関する啓発資料の 作成・周知、アルコール依存症に関する相 談対応等の実施	総務局職員健康課	実施	①市職員のこころの健康相談で、アルコールなど依存症に関 する相談にも対応している。 ②職員に対して飲酒に関する啓発資料を作成・発信してい る。	○						①随時 ②年1～2回
存 （ 3 ） 組 に 特 化 し た 取 組	ア 重複処方 の人への お知らせ	医療機関への重複受診や重複・多剤処方 が見られる人に対し、薬物依存に関する注意 喚起や適正受診に関する指導及び相談支援 機関に関する情報提供の実施	健康福祉局保険年金課	実施	①重複頻回対策事業 ②重症化リスク者適正受診勧奨事業（重複投薬、多剤服用者 へ適正受診を促す通知）		○				①通知・電話指導11件（延べ） ②1,622人	
		借金・多重債務問題の相談、法律相談な ど、依存症の本人等の目に触れる機会や場 において相談につながるリーフレット等の 配架・配布	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	①【再掲】 依存症啓発リーフレット等の作成・配布 ②法テラス等への啓発資料の送付	○	○	○	○	すべて	①【再掲】 庁内機関120カ所、外部機関828カ所に配布 ②法テラスに10部ずつ送付	

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を 分けて記載しています。	実施状況	事業・取組名・取組内容など	対象とする依存症の分野					実績（または見込）
					アルコー ル	薬物	ギャンブ ル	ネット・ ゲーム	その他	
に 特 化 し た 取 組 ギ ャ ン プ ル 等 依 存 症	ア ギャンブル等依存症の本人等が相談につながる普及啓発	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	①【再掲】依存症啓発リーフレット等の作成・配布 ②【再掲】公営競技の場外券売場での啓発カードの配架依頼	○	○	○	○	すべて	①【再掲】庁内機関120カ所、外部機関828カ所に配布 ②【再掲】30部5カ所に送付
	消費生活総合センターにおいて、ギャンブル等依存症の相談につながる広報物の配架・配布	経済局消費経済課	実施	消費生活総合センターにおいて、ギャンブル等依存症の相談につながる広報物の配架・配布			○	○		消費生活総合センターの展示・情報資料室にて「依存症って知っていますか?」「依存症のお悩みを抱えるあなたへ」(横浜市こころの健康相談センター発行)等の広報物を配架
ア 連携会議による支援情報の収集と共有等	・ 関係機関の連携と地域における依存症に関する情報や課題の共有を目的とした連携会議の開催 ・ 関係機関との情報や課題の共有	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	依存症関連機関連携会議の開催	○	○	○	○	すべて	・開催回数：4回 ・参加機関：50機関
	連携会議への参加及び関係機関との情報や課題の共有	こども青少年局児童相談所 基幹相談支援センター 発達障害者支援センター 精神障害者生活支援センター 地域ケアプラザ 区高齢・障害支援課 区生活支援課 区こども家庭支援課 民間支援団体等	実施	連携会議への参加及び事例検討等を通じた課題の共有	○	○	○			連携会議への参加
	連携会議の開催をはじめとした行政、民間支援団体等、医療機関、身近な支援者などによる幅広いネットワークと顔の見える関係の構築	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	【再掲】依存症関連機関連携会議の開催	○	○	○	○	すべて	【再掲】依存症関連機関連携会議の開催
	連携会議への参加をはじめとした行政、民間支援団体等、医療機関、身近な支援者などによる幅広いネットワークと顔の見える関係の構築	こども青少年局児童相談所 基幹相談支援センター 発達障害者支援センター 精神障害者生活支援センター 地域ケアプラザ 区高齢・障害支援課 区生活支援課 区こども家庭支援課 民間支援団体等	実施	連携会議への参加及び事例検討等を通じた課題の共有	○	○	○			【再掲】連携会議への参加
身近な支援者から専門的な支援者へのつなぎを行うための初期チェックリストや連携フローなどを記載した、支援ガイドラインの作成	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	依存症支援者向けガイドラインの作成	○	○	○	○	すべて	・「入門・イチから学ぶ依存症支援～横浜市内で依存症及び関連課題に携わる支援者向けガイドライン～」令和4年10月策定 ・市民情報センター 市政刊行物・グッズ販売コーナーにて令和4年12月1日より販売	

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を 分けて記載しています。	実施状況	事業・取組名・取組内容など	対象とする依存症の分野					実績（または見込）
					アルコー ル	薬物	ギャンブル	ネット・ ゲーム	その他	
ウ 支援ガイド ラインの作成 及び支援者 向け研修の実 施	身近な支援者の依存症理解の促進と支援の 向上を目指す、研修等の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	依存症対応研修（基礎・実践編）の実施	○	○	○			R3年度まで実施していた基礎・実践研修から依存症に関する相談支援のスキルアップを目指す支援者向け研修として開催（オンライン開催）（7・8月：基礎編、9・10月実践編を各月1回） ・講師 全4回：田中 剛氏（矢田の丘相談室 代表） 7月：小宮 勤氏（ダルク ワイリングハウス 代表） 8月：小林 洋氏（横浜マックデイケアセンター 施設長） 9月：山田 貴志氏（横浜ダルク・ケア・センター 施設長） 10月：田村 浩司氏（全国ギャンブル依存症家族の会神奈川県） ・延べ参加者数 306名（7月：81名、8月：77名、9月：74名、10月：74名）
	身近な支援者から専門的な支援者へのつな ぎを行うための初期チェックリストや連携 フローなどを記載した、支援ガイドライン 作成にあたっての検討・情報共有	こども青少年局児童相談所 基幹相談支援センター 発達障害者支援センター 精神障害者生活支援センター 地域ケアプラザ 区高齢・障害支援課 区生活支援課 区こども家庭支援課 民間支援団体等	実施	連携会議への参加及び事例検討等を通じた課題の共有、連携 会議の場での支援ガイドライン作成にあたっての検討・情報 共有	○	○	○			【再掲】 ・「入門・イチから学ぶ依存症支援～横浜市内で依存症及び 関連課題に携わる支援者向けガイドライン～」令和4年10月 策定 ・市民情報センター 市政刊行物・グッズ販売コーナーにて 令和4年12月1日より販売
	身近な支援者の依存症理解の促進と支援の 向上を目指す、研修等の参加	こども青少年局児童相談所 基幹相談支援センター 発達障害者支援センター 精神障害者生活支援センター 地域ケアプラザ 区高齢・障害支援課 区生活支援課 区こども家庭支援課 民間支援団体等	実施	こころの健康相談センターより、依存症対応研修（基礎・実 践編）の周知	○	○	○			【再掲】延べ参加者数：306名
	関係機関と連携を図りながら身近な支援者 から専門的な支援者への適切なつなぎの実 施	こども青少年局児童相談所 基幹相談支援センター 発達障害者支援センター 精神障害者生活支援センター 地域ケアプラザ 区高齢・障害支援課 区生活支援課 区こども家庭支援課	実施	各窓口が必要に応じて関係機関と連携しながら、専門的な支 援者へのつなぎを実施	○	○	○	○	すべて	・各窓口で専門的な支援者へのつなぎを実施 ・回復支援機関（横浜ダルク・ケア・センター）と連携した 個別支援（南区）（10名程度）
総合的な 依存症	身近な支援者が依存症の理解を促進する研 修等における技術支援・連携	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	【再掲】依存症対応研修（基礎・実践編）の実施	○	○	○			【再掲】延べ参加者数：306名

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を 分けて記載しています。	実施状況	事業・取組名・取組内容など	対象とする依存症の分野					実績（または見込）	
					アルコール	薬物	ギャンブル	ネット・ゲーム	その他		
重点施策4 身近な支援者等から依存症支援のための取組	オ 身近な支援者と連携した取組	依存症の理解を促進する研修等の開催・参加	実施	依存症の理解を促進する研修等の開催・参加	○	○				・神奈川県酒害相談研修や断酒会主催の研修会への参加（鶴見区、神奈川区、西区、青葉区、戸塚区） ・生活保護担当ケースワーカー向け薬物依存症対応基礎研修に参加（青葉区）	
	カ 福祉サービス提供事業者等への情報提供や研修の実施	介護事業者や障害福祉サービス事業者等を対象とした依存症に関する情報提供や研修等の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	【再掲】 依存症対応研修（基礎・実践編）の実施	○	○	○			【再掲】 延べ参加者数：306名
		子どもの保護者等が依存症の問題を抱えている場合に、早期発見・早期支援につなげられるよう、保育・教育機関の職員などを対象とした情報提供や研修等の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	①ゲーム依存の悩みを抱える家族や支援者向けのセミナーを家族教室で実施 ②【再掲】 依存症対応研修（基礎・実践編）の実施				○		①ゲーム依存家族セミナー 日時：8月18日 テーマ：ゲーム依存の理解と対応～医療対応が必要な事例を中心に～ 講師：藤田 純一氏（横浜市立大学附属病院児童精神科医長） 参加者数：108名 ②【再掲】 延べ参加者数：306名
		介護事業者や障害福祉サービス事業者、相談支援事業者を対象とした依存症に関する研修等の参加	健康福祉局障害福祉推進課 健康福祉局障害施設サービス課 健康福祉局自立支援課 健康福祉局介護事業指導課 健康福祉局高齢住宅支援課	実施	各課が所管しているサービスの事業者へ依存症対応研修（基礎・実践編）等の情報提供	○	○	○			【再掲】 延べ参加者数：306名
		教育機関の職員などを対象とした研修等の参加	教育委員会事務局健康教育・食育課	実施	【再掲】 薬物乱用防止啓発指導者研修会の実施		○				【再掲】 「薬物依存に関する最近の話題（OTC医薬品の乱用等）」 講師：湘南医療大学 薬学部長 鈴木勉氏 開催回数：1回（令和4年10月11日から令和4年12月23日まで） eラーニングにて実施 参加者数：217人
		教育機関の職員などを対象とした研修等の参加	教育委員会事務局人権教育・児童生徒課	未実施							
	キ 市内の支援者情報をまとめた情報ツールの整備	身近な支援者が対象者のニーズに合った支援者を検索できるよう、市内の支援者情報をまとめた情報ツールの整備	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	①支援者情報の提供 ②【再掲】 支援者向けガイドライン	○	○	○	○	すべて	①ホームページ上での支援者情報の掲載 ②【再掲】 「入門・イチから学ぶ依存症支援～横浜市内で依存症及び関連課題に携わる支援者向けガイドライン～」令和4年10月 審定 ・市民情報センター 市政刊行物・グッズ販売コーナーにて 令和4年12月1日より販売
	ク 救急医療機関との連携	救急医療機関において、依存症が疑われる患者やその家族等への依存症に関する知識の提供や専門的な支援者につなげるための広報物の作成・配架・配布	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	救急医療機関への広報物等の送付による情報提供	○	○	○	○	すべて	市内の救急科のある医療機関に本市作成のリーフレットや広報物等を送付（市内医療機関 338箇所）
		救急医療機関において、依存症が疑われる患者やその家族等への依存症に関する知識の提供や専門的な支援者につなげるための広報物の作成・配架・配布	医療局医療政策課	その他	精神保健福祉課と連携	○	○	○	○	すべて	精神保健福祉課と連携

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているもの、担当課を 分けて記載しています。	実施状況	事業・取組名・取組内容など	対象とする依存症の分野					実績（または見込）
					アルコー ル	薬物	ギャンブ ル	ネット・ ゲーム	その他	
ケ かかりつけ 医への研修の 実施	かかりつけ医から専門的な支援者へのつな ぎの促進に向けて、「かかりつけ医うつ病 対応力向上研修」において、依存症の理解 促進を図る内容を追加	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	かかりつけ医うつ病対応力向上研修	○	○	○			うつ病に関する基礎知識の講義の中で、自殺との関連問題と して、アルコールを中心に依存症に関する内容に言及。 開催日：令和4年11月20日 対象及び実績：県内で医療に従事している医師 89名参加
	区役所の精神保健福祉相談及び関係各課に おける依存症への理解と相談対応力の向上 に向けた依存症に関する研修等への参加	区高齢・障害支援課 区生活支援課 区こども家庭支援課 区福祉保健課	実施	①【再掲】 依存症対応研修（基礎・実践編）への参加 ②MSW新任研修への参加 ③断酒会主催の研修会への参加 ④R4厚生労働省依存症治療・相談拠点設置事業「生活保護担 当ケースワーカー向け薬物依存症対応基礎研修」への参加	○	○	○			③鶴見区、西区、南区、青葉区、戸塚区、 ④青葉区
	各課や関係機関との横断的な情報共有や連 携した対応の実施	区高齢・障害支援課 区生活支援課 区こども家庭支援課 区福祉保健課	実施	各区窓口で必要に応じた各課や関係機関との横断的な情報共 有、複合的な問題を抱える事例における連携した対応の実施	○	○	○	○	すべて	各区窓口で連携した対応の実施
	身近な支援者に向けて、専門の医師等によ る研修の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	横浜市立大学への委託事業「減酒外来におけるアルコール依 存症の早期発見・早期継続支援及び啓発事業」の中で、一般 医療機関の医療従事者を対象とした研修会（地域医療連携研 修会）を開催	○					日時：9月15日 18:50～20:00 内容①：「アルコール性肝障害について」 講師①：古野 拓氏（横浜市立大学附属市民総合医療セン ター 精神医療センター部長） 内容②：「アルコール依存症の治療について」 講師②：湯村 幸氏（横浜市立大学附属市民総合医療セン ター 患者総合サポートセンター長） 参加者数：37名
ア 内科等 の気付きとつ なぎ	内科等において依存症が疑われる事例をス クリーニングし、専門的な支援者へつな ぐための仕組みづくりの検討	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	依存症セルフチェックポスター・チラシの作成・送付	○	○	○	○		依存症の早期発見・早期支援のため、内科等の市内医療機関 約3,400か所に依存症セルフチェック活用促進のためのポス ター・チラシを送付
	内科等において依存症が疑われる事例をス クリーニングし、専門的な支援者へつな ぐための仕組みづくりの検討	医療局医療政策課	その他	精神保健福祉課と連携	○	○	○	○		精神保健福祉課と連携
	依存症の本人等がアルコールに起因する疾 患により内科を受診した際に、適切に専門 医療機関や民間支援団体等へつなぐことが できるよう、医療従事者等への情報提供や 研修等の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	【再掲】 横浜市立大学への委託事業「減酒外来におけるアル コール依存症の早期発見・早期継続支援及び啓発事業」の中 で、一般医療機関の医療従事者を対象とした研修会（地域医 療連携研修会）を開催	○					【再掲】 参加者数：37名

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を 分けて記載しています。	実施状況	事業・取組名・取組内容など	対象とする依存症の分野					実績（または見込）
					アルコー ル	薬物	ギャンブ ル	ネット・ ゲーム	その他	
10 した 取組	依存症の本人等がアルコールに起因する疾 患により内科を受診した際に、適切に専門 医療機関や民間支援団体等へつなぐことが できるよう、医療従事者等への情報提供や 研修等の実施	医療局医療政策課	その他	精神保健福祉課と連携	○					精神保健福祉課と連携
(3) 症に 特化 した 薬物 依存	保護観察所との密な連 携と情報共有	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	①コホート調査における交流 ②【再掲】依存症対応研修（基礎・実践編）の実施	○	○	○	○	すべて	①令和5年2月22日保護観察所プログラム見学 ②【再掲】延べ参加者数：306名
	保護観察所との密な連 携と情報共有	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	薬物依存のある保護観察対象者等に対する地域支援連絡協議 会への出席		○				令和5年2月22日出席（こころの健康相談センター 2名、 精神保健福祉課 1名）
	保護観察の対象となった薬物依存症者のコ ホート調査へ協力し、保護観察の対象とな った人への継続的な支援の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	コホート調査の実施		○				・調査対象者9名（令和5年4月1日時点） ・調査開始（令和元年7月）から現在まで34名登録
(4) ギ ャ ン プ ル 等 依 存 症 に 特 化	借金・消 費生活・法 律相談等から専 門的な支援者へ のつなぎ及び啓 発	経済局消費経済課	実施	消費生活総合センターにおいて、依存症の本人や依存症が疑 われる人から相談があった場合に、借金・消費生活・法律等 に関する相談窓口等の身近な支援者から専門的な支援者へつ なぐとともに、関係機関のホームページ等に提出される情報 を紹介するなどの啓発を実施			○	○		依存症に関する窓口を紹介した案件の実績はなし（令和5年 3月28日現在）
	依存症の本人や依存症が疑われる人が相談 に訪れる可能性のある、借金・消費生活・ 法律等に関する相談窓口等で、依存症の可 能性に気づき、専門的な支援者等へつなぐ ことができるよう、相談に携わる人に向け て、依存症に係る情報提供や研修などを実 施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	①【再掲】依存症対応研修（基礎・実践編）の実施 ②【再掲】法テラス等への啓発資料の送付	○	○	○			①【再掲】延べ参加者数：306名 ②法テラスに10部ずつ送付
ア 行政にお ける相談支援	専門相談を実施するとともに、回復プログ ラム等の案内や専門的な支援者等との連携 など、回復に向けたつなぎの実施	健康福祉局こころの健康相談センター	実施	依存症個別相談の実施	○	○	○	○	すべて	相談延件数：1,219件
	区役所の精神保健福祉相談において、相談 対応を行うとともに、地域の身近な窓口と して継続的な支援の実施	区高齢・障害支援課	実施	精神保健福祉相談における依存症に関する相談対応	○	○	○	○	すべて	相談延件数：2,363件
	依存症のメカニズムや再発のサイン・対処 法について一緒に考える回復プログラムの 実施	健康福祉局こころの健康相談センター	実施	依存症回復プログラム「WAI-Y」の実施	○	○	○	○		・参加実人数19人、延べ数113人 ・第19回「精神科治療学賞」優秀賞受賞
	家族等が依存症について学び、対応方法・ 回復について考える家族教室の実施	健康福祉局こころの健康相談センター	実施	依存症家族教室の実施	○	○	○	○	すべて	参加延べ数：302名

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を 分けて記載しています。	実施状況	事業・取組名・取組内容など	対象とする依存症の分野					実績（または見込）
					アルコー ル	薬物	ギャンブ ル	ネット・ ゲーム	その他	
イ 回復プログラム・家族教室の実施	地域資源を活用した家族教室の実施	区高給・障害支援課	実施	①アディクション（依存症）家族教室（鶴見区、神奈川区、南区合同開催） ②家族教室（保土ヶ谷区、旭区、瀬谷区合同開催） ③アルコール依存症教室（金沢区） ④アディクション家族教室（港北区、緑区、青葉区、都筑区合同開催）	○	○	○	○	買い物	①12回（うち6回は外部講師に依頼）開催、会場は4回ごとに3区で持ち回り。 外部講師：大石裕代医師（大石クリニック） 参加者：延40人 ②10回開催 場所：保土ヶ谷区役所、旭区役所、瀬谷区役所 参加者：延べ7人 外部講師：島田氏（Y-ARAN） ③9回開催 場所：金沢区役所 参加者：延55人 外部講師：大石クリニック看護師、アルク相談員 ④12回開催、会場は3回ごとに4区で持ち回り。 場所：港北区役所、緑区役所、青葉区役所、都筑区役所 参加者：延24名 外部講師：田中剛氏（矢田の丘相談室 代表）
ウ 民間支援団体等による依存症の本人や家族等への支援	・ 民間支援団体等がそれぞれの特性を生かした、依存症の本人や家族等の回復に向けた取組の実施 ・ 他の民間支援団体等や関係機関と情報共有を図りながら、本人や家族等のニーズに合った支援の提供	民間支援団体等	実施	①各民間支援団体等による支援活動 ②連携会議への参加等を通じた情報共有	○	○	○	○	すべて	①横浜市が交付する民間団体活動支援事業補助金を活用し、6団体が相談活動、普及啓発、ミーティング活動等の11事業を実施 ②連携会議への参加
エ 利用者のニーズに合った制度の検討	障害者総合支援法等の制度内で対応しきれない依存症特有の支援ニーズに対して、利用者の回復につながる利用制度に向けた調整の検討	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	横浜市依存症関連問題に取り組む民間団体活動支援事業補助金の活動費補助の見直しの実施	○	○	○			対象活動の中で、他の公費が入っていない部分の補助対象の解釈の見直しを実施（例：講演会実施等のための内部職員活動にあたる謝金等）
	障害者総合支援法等の制度内で対応しきれない依存症特有の支援ニーズに対して、利用者の回復につながる利用制度に向けた調整の検討	健康福祉局障害施設サービス課	実施	【再掲】横浜市依存症関連問題に取り組む民間団体活動支援事業補助金の活動費補助の見直しの実施	○	○	○			【再掲】対象活動の中で、他の公費が入っていない部分の補助対象の解釈の見直しを実施（例：講演会実施等のための内部職員活動にあたる謝金等）
オ 民間支援団体等への活動支援	民間支援団体等が継続して依存症の本人や家族等を支援できるよう、団体が行うミーティング・普及啓発・相談等の活動へ補助 ・ 男女共同参画センターの会議室等を自助グループの活動場所として提供 ・ 自助グループが開催するセミナーの支援の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課 政策局男女共同参画推進課	実施 実施	横浜市依存症関連問題に取り組む民間団体活動支援事業補助金の交付 自助グループ支援事業	○ ○	○ ○	○ ○		共依存 摂食障害	・ 自助グループ支援 依存症関連15グループ ・ 広報物「自助グループのご案内」5,000部配布
	・ 感染症予防に必要な物品を含めた活動補助の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	【再掲】横浜市依存症関連問題に取り組む民間団体活動支援事業補助金の交付	○	○	○			【再掲】6団体11事業へ交付

実施	取組	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を 分けて記載しています。	実施状況	事業・取組名・取組内容など	対象とする依存症の分野					実績（または見込）
						アルコー ル	薬物	ギャンブル	ネット・ ゲーム	その他	
支援 の 取組	カ	施設の危機管理体制充実に向けた支援	健康福祉局障害施設サービス課	実施	・障害福祉サービス事業所や地域活動支援センターに対して、「災害時対応マニュアル」や「緊急時対応マニュアル」の作成等を促すとともに、それぞれ実地指導の際に内容を確認し、必要な助言を行っている。 ・福祉避難所を運営する社会福祉法人等に対し、助成金を交付している。 ・新型コロナウイルス感染症対策として「障害福祉サービス継続支援事業」を実施し、衛生物品等の購入に対する補助を行っている。						通年
	キ	スタッフの人材育成・セルフケアのための取組	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	①依存症リカバリースタッフ向け研修の実施 ②久里浜医療センター主催研修の周知等	○	○	○	○	すべて	①市内依存症回復施設スタッフ、家族会メンバーが参加 ②オンライン開催、19人参加
	ク	連携会議による情報共有	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	【再掲】 依存症関連機関連携会議の開催	○	○	○	○	すべて	【再掲】 ・開催回数：4回 ・参加機関：50機関
	ケ	専門的な医療機関の充実に向けた研修等の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	①【再掲】 横浜市立大学への委託事業「減酒外来におけるアルコール依存症の早期発見・早期継続支援及び啓発事業」の中で、一般医療機関の医療従事者を対象とした研修会（地域医療連携研修会）を開催 ②久里浜医療センター研修での研修の周知等	○					①【再掲】参加者数：37名 ②医療従事者向け研修の実施
		身近な支援者が専門的な支援者と支援情報の共有等の促進を図り、地域生活の中で回復し続けられる支援体制の構築を目指すため、連携会議の開催・参加	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	【再掲】 依存症関連機関連携会議の開催	○	○	○	○	すべて	【再掲】 ・開催回数：4回 ・参加機関：50機関

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を 分けて記載しています。	実施状況	事業・取組名・取組内容など	対象とする依存症の分野					実績（または見込）	
					アルコー ル	薬物	ギャンブ ル	ネット・ ゲーム	その他		
重点 施策 6 地域 で 生 活 し な が ら 、 回 復 を 続 け る こ と を +	ア 連携会議 によるサポー ト体制の構築	身近な支援者が専門的な支援者と支援情報 の共有等の促進を図り、地域生活の中で回 復し続けられる支援体制の構築を目指すた め、連携会議の開催・参加	実施	【再掲】 連携会議への参加	○	○	○			【再掲】 連携会議への参加	
	イ 地域にお ける依存症の 支援	地域生活の中での回復の継続に向けて、関 係する各主体と専門的な支援者が、情報や 技術を共有するとともに、「精神障害にも 対応した地域包括ケアシステム」構築に向 けた協議の場等において、関係者間の連携 を進め、支援体制を構築 ・ 依存症を抱える本人の地域での生活を 支える、介護事業者や障害福祉サービス事 業者、相談支援事業者がスムーズに支援を 行うことができるよう、依存症に関する情 報提供や研修等を実施	健康福祉局精神保健福祉課 健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施 【再掲】 依存症対応研修（基礎・実践編）の実施		○	○			①区の実情に合わせ、2か月に1回程度の開催 ②年3回開催 ③全4回開催 ④4区利用 【再掲】 延べ参加者数：306名	
	ウ 回復や支 援に関する情 報共有	依存症の様々な支援のあり方や回復プロセ スの共有及び関係機関への周知	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	【再掲】 支援者向けガイドライン	○	○	○	○	すべて	【再掲】 ・ 「入門・イチから学ぶ依存症支援～横浜市内で依存症及び 関連課題に携わる支援者向けガイドライン～」令和4年10月 策定 ・ 市民情報センター 市政刊行物・グッズ販売コーナーにて 令和4年12月1日より販売
	エ 更生保護 と一体とな ったサポート	保護観察所等と連携して、民間支援団体等 に関する情報提供や依存症以外の問題に関 する相談対応の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	①意見交換会の実施 ②【再掲】 コホート調査の実施			○			①年1～2回 ②【再掲】 コホート調査の実施 ・ 調査対象者9名（令和5年4月1日時点） ・ 調査開始（令和元年7月）から現在まで34名登録
	オ 就労の支 援	回復後も切れ目ない支援を継続するため、 業務事例による保護観察対象者を対象と するコホート調査への協力 若者サポートステーションにおいて、就労 に向けて様々な困難を抱える15～49歳 の人及びその家族等を対象として、総合相談 や就労セミナー、就労訓練等の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課 こども青少年局青少年育成課	未実施 実施	 【事業】 若者サポートステーション事業 【内容】 就労支援、定着支援に関する就労の全般的な相談支援やセミ ナー、就労体験等を実施						困難を抱 える若者 を対象と して お り、依 存 症 ま た は 特 定 の 依 存 症 分 野 に 限 定 し な い。 ※令和4年度12月末時点 相談件数 10,942件

施策	取組の方向性	担当課 ※複数課で実施しているものも、担当課を 分けて記載しています。	実施状況	事業・取組名・取組内容など	対象とする依存症の分野					実績（または見込）
					アルコール	薬物	ギャンブル	ネット・ゲーム	その他	
ポ ー ト す る 取 組	障害者就労支援センターにおいて、働くことを希望する障害児・者を対象として、就労に関する相談、職場実習等を通じた適性把握、求職活動支援や就労後の定着支援等の実施	健康福祉局障害自立支援課	その他	求職支援、定着支援に関する就労の全般的な相談支援を実施（依存症に特化した取り組みではなく、依存症の方も含めて引き続き、就労相談支援を実施する。）	○	○	○	○		随時
	依存症からの回復を続ける人や、依存症に関連する犯罪により刑務所等から出所した人が地域の中で住み続けられるよう、依存症に関する正しい知識の普及啓発の実施	健康福祉局こころの健康相談センター 健康福祉局精神保健福祉課	実施	①【再掲】広報よこはま、Twitter、LINEにおける相談窓口の案内 ②【再掲】公共交通機関での動画広告の掲載 ③【再掲】依存症啓発リーフレット等の作成・配布	○	○	○	○	すべて	①【再掲】広報よこはま令和4年度5月号、11月号にそれぞれ記事掲載 ②【再掲】公共交通機関の車内広告等で放映 ③【再掲】庁内機関120カ所、外部機関828カ所に配布
	住宅に困窮する低額所得者で市内に在住又は在勤の人に対して、公募により市営住宅の提供	建築局市営住宅課	実施	市営住宅入居者募集	○	○	○	○		年2回実施（4月・10月）
	低額所得者、障害者等が民間賃貸住宅への入居をしやすいとする仕組みとして「住宅セーフティネット制度」の活用	建築局住宅政策課	実施	①セーフティネット住宅の登録制度 低額所得者、障害者等の住宅確保要配慮者の入居を拒まない住宅（セーフティネット住宅）として大家が住宅を登録する制度 ②セーフティネット住宅の家賃などへの補助（家賃補助付きセーフティネット住宅） ③住宅確保要配慮者に対する居住支援（横浜市居住支援協議会による取組）					「住宅確保要配慮者」として定義づけられている属性（低額所得者、障害者等のいずれかに当てはまる方が対象となります。）	①セーフティネット住宅登録戸数：10,219戸(R5.3.31現在) ②家賃補助付きセーフティネット住宅戸数：173戸(R5.3.31現在)
住宅確保要配慮者の居住支援を充実させるため、横浜市居住支援協議会と不動産事業者や福祉支援団体、区局の連携を強化する制度の検討	建築局住宅政策課	実施	よこはま居住支援サポーター登録制度					「住宅確保要配慮者」として定義づけられている属性	よこはま居住支援サポーターによる居住支援の運用開始	
その他の取組		健康福祉局医療安全課	実施	市立中学校の新中学2年生への薬物乱用防止リーフレットの配布事業		○				148校（義務教育学校含む）の新中学2年生全員にリーフレット配布。
		健康福祉局医療安全課	実施	薬物乱用防止講演会の開催		○				「若者における薬物乱用の現状と、本人のやる気を引き出す支援」 講師：神奈川県立精神医療センター 依存症診療科長 青山久美氏 神奈川県及び保健所設置市合同で講演会を実施した。 出席者212名。

こころの健康相談センター等における
令和5年度の依存症対策事業について

<こころの健康相談センター及び精神保健福祉課が実施する取組>

実施月	事業・取組 【新規／継続】	取組詳細	対応する 重点施策
5月	ギャンブル等依存症家族向けセミナー【継】	5月29日 横浜市技能文化会館 参加者：28名（ご家族、支援者） 講師：朝倉崇文氏（北里大学病院精神神経科医師） 佐藤しのぶ氏（NFCR ノンファミリーカウンセリングルーム 心理カウンセラー）	3、4、5
5月～	ギャンブル等依存症相談窓口紹介カードの配布【継】	依存症の簡易チェックリスト、相談窓口などを掲載したカードを配布し、配架を依頼。 配付先：各福祉保健センター、自助G、回復施設等	3
5月	公共交通における動画広告【継】	相談を勧奨する動画を作成し、公共交通機関で放映 車内広告：横浜市営地下鉄ブルーライン、相鉄線 ホームドアビジョン：みなとみらい線 （馬車道駅、元町・中華街駅） 掲示期間：令和5年5月8日～5月21日	1、2、3
5月	・広報よこはま【継】 ・横浜市LINE等からの発信【継】	・広報よこはま5月号で、ギャンブル等依存症啓発週間に合わせたセミナーや相談先について案内。 ・横浜市LINE等からのギャンブル等依存症啓発週間についての発信	1、2、3
6月～	民間支援団体の活動紹介【継】	こころの健康相談センターを民間支援団体の活動を紹介する場として活用	5
6月	・横浜市LINE等からの発信【継】	8月1日開催する若年層家族向け依存症セミナーの受付開始時期について横浜市LINE等から発信	3
8月	若年層依存症家族向けセミナー【新】	<u>8月1日 横浜市社会福祉センター</u> テーマ： <u>処方薬・市販薬依存</u> 講師： <u>青山久美氏（神奈川県立精神医療センター コ・メディカル部長、依存症診療科医師）</u>	3、4、5
9～ 10月	スキルアップ研修【継】	R3年度まで実施していた基礎・実践研修から依存症に関する相談支援のスキルアップを目指す支援者向け研修として開催（オンライン開催）（9月：基礎編を1回、10月実践編を本人支援、家族支援をテーマに2回）。※研修では、令和4年度に策定した支援者向けガイドラインを活用する。	4、5、6

実施月	事業・取組 【新規／継続】	取組詳細	対応する 重点施策
10月 3月	依存症関連啓発資料の関係機関・団体への発送【継】	主に横浜市内の関係団体・機関・関連部署等へ、こころの健康相談センターで作成している広報物を発送し、実情に応じて配架・配布を依頼。	1、2、 3、4、6
11月	・広報よこはま【継】 ・横浜市LINE等からの発信【継】	・広報よこはま11月号で、アルコール関連問題啓発週間に合わせたセミナーや相談先について案内。 ・横浜市LINE等からのアルコール関連問題啓発週間についての発信（予定）。	1、2、3
11月	リカバリースタッフ向け研修【継】	時期・講師等詳細未定	5
11月	アルコール依存症家族向けセミナー【継】	11月24日 横浜市社会福祉センター 講師：湯本洋介氏（久里浜医療センター精神科医長）	3、4、5
11月	公共交通における動画広告【継】【再掲】	5と同様、公共交通機関で放映。アルコール依存症に関する相談勧奨の動画。 <u>掲示期間</u> ：11月10日～16日を含む2～3週間（交通機関により実施時期が異なる）	1、2、3
12月	ゲームに関する啓発ちらしの作成・小中学校での配布（教育委員会と共同実施）【拡】	家庭でのゲームとの付き合い方を子どもと話し合い、ルール作りをするきっかけとなること、また、ゲームによる問題がすでに起きている場合に相談につながることを目的とした、保護者向けのちらしを作成し、市立の小中学校で配布。 配布対象：小学1年生から中学3年生	1、3
1月	<u>SNS 広告の試行実施</u> 【新】	<u>Twitter で依存症に関連するワードをつぶやいた人に対してこころの健康相談センターを案内するインターネット広告を表示する。</u>	3
3月	新たな若年層向け普及啓発動画の作成及び公開【新】	主に若年層向けの依存症の正しい理解を促進する普及啓発動画を制作し、動画サイト等で公開。	1、2、3
通年	<u>若年層向け普及啓発動画の動画広告</u>	<u>若年層向けの依存症の正しい理解を促進する普及啓発動画を YouTube インストリーム広告にて配信</u>	1、2、3
通年	インターネットリスティング広告【継】	Yahoo! 及び Google の検索エンジンでの依存症に関連する単語で検索された際に、こころの健康相談センターを案内するインターネット広告の表示	3
通年	メール相談支援事業【継】	上記広告を活用し、背景に依存症の問題を抱えるハイリスク者を対象としたメール相談を実施	3

実施月	事業・取組 【新規／継続】	取組詳細	対応する 重点施策
通年	家族等向け支援紹介動画の公開【継】	家族等向け支援紹介動画のインターネット上及び市役所庁舎等での公開	1、2、3
通年	依存症セルフチェックウェブページの公開、周知広報物の作成・配布【継】	Web 上で依存症の簡易スクリーニングテストができるページを公開。また、ウェブページを周知する広報物を作成し、配布。 依存対象：アルコール（AUDIT）、薬物（DAST-20）、ギャンブル等（SOGS）、インターネット（IAT）	3
通年	減酒外来におけるアルコール依存症の早期発見・早期継続支援及び普及啓発事業【継】	横浜市立大学への委託事業で、市民総合医療センター内の減酒外来において、以下の取組を実施。 (1) 専門職員を配置し、通院患者・入院患者のアセスメント、依存症治療・支援へのつなぎ (2) 民間団体との連携及び支援情報の収集と整理 (3) 地域の医療機関の医療従事者向けに専門的な医療の知見を活かした研修、一般市民及び依存症者の家族等向けの普及啓発	1、2、 3、4、5
通年	家族教室【継】	月1回実施（5月、8月、11月は公開セミナーを実施【再掲】） 医療機関、民間支援団体等からの講師による講義・体験談、クラフト（年4回）	5
通年	回復プログラム【継】	全8回×2クール（2週に1回×8回） 令和元年度までは、週1回のコースを実施。令和2～3年度は、仕事等と両立しながら通う方を想定し、月1回のコースを試行実施した。	5
通年	専門相談【継】	専門相談員による電話・面接での相談	5
随時	連携会議【継】	令和5年度は2～3回開催予定。 開催時期：8～9月頃、12～1月頃 行政、医療、保健・福祉、司法などの機関と開催し、地域の依存症対策に関する情報や課題の共有などを行う。	4、5、6
その他	民間支援団体補助金【継】	民間支援団体の活動を支援するため、団体が実施するミーティングや普及啓発、相談活動等の事業への補助金を交付 応募数：7団体 12事業（7月下旬交付決定予定） （令和2年度：13事業、令和3年度：16事業、令和4年度：6団体 11事業）	5